

令和5年度事業報告書

(令和6年5月23日)

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

令和5年度事業報告にあたって

令和5年度はコロナ禍前の教育活動に一段と近づき、活発な教育活動を取り戻しつつあると感じることが出来る1年となりました。また、就業規則の改訂に向けた取り組みや学則変更等の課題についても計画的に取り組み、適正化に向け前進しています。

しかし、学生募集については減少が続いていることから、今後の在り方について慎重かつ早急に検討しながら取り組みを継続して参ります。

I 法人(事務局)

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

日 時	議 題
令和5年5月25日	令和4年度事業報告及び決算報告について 令和5年度補正予算案について
令和5年11月2日	令和5年度上半期事業報告について 令和5年度上半期決算報告について 令和5年度補正予算案について 学則変更案について
令和6年3月28日	令和6年度事業計画案ならびに予算案について

(2) 評議員会

日 時	議 題
令和5年5月25日	令和4年度事業報告及び決算報告について 令和5年度補正予算案について
令和5年11月2日	令和5年度上半期事業報告について 令和5年度上半期決算報告について 令和5年度補正予算案について 学則変更案について
令和6年3月28日	令和6年度事業計画案ならびに予算案について

2. 理事・評議員・監事の状況

令和6年3月末日現在	定 数	現員数
理 事	7	7
評議員	17	17
監 事	2	2

3. 教職員体制

(1) 採用 自動車工学科(昼間)教員 1 名
清掃パート 1 名

(2) 退職 職員 1 名
教員 1 名

(3) 教職員数

令和 6 年 3 月末現在	本務	兼務
教 員	31	52
職 員	11	※6

※校務および清掃パート

4. 事務局・総務部事業報告

(1) 中期ビジョンの浸透と全教職員一丸となった事業の推進

中期ビジョンについては継続的に周知を図りながら理解と浸透を進めている。

(2) 組織体制の見直し

毎年組織の見直しを図り、業務改善を進めている。

(3) 就業規則の改訂等

令和 5 年度下半期に新就労ルールにて暫定的な運用を行い、職場代表を通じて意見交換を行い、令和 6 年 4 月に就業規則の改訂の目途が立った。

また、育児休業・介護休業規定について、令和 6 年 1 月に改訂した。

(4) 労務管理システムの導入検討

就業規則の改訂に伴い、教職員の勤怠管理の為、労務管理システム導入の準備を行った。

(5) 定員及び学納金値上げの検討・学費免除制度の検討

令和 5 年 1 1 月 2 日開催の理事会・評議員会で承認をいただき、令和 6 年 4 月 1 日施行(学納金は令和 7 年入学者から)となるよう関係省庁への届け出を完了した。また、専門課程の学費免除入試制度の見直しを行い、国の支援制度と重複がないよう給付型とした。

(6) 施設設備の修繕・更新

【本校舎】①各教室の学生用イスとコンピュータ室のイスを入替

②ファンコイルユニット（空調設備）4 教室分を交換

③ 4 B 教室の床貼替、7 C 教室の黒板貼替

【実習棟】①屋上防水工事

②車両用リフトの入替工事

【北校舎】①体育館耐震診断調査

②1 階実習室 200 V 電源増設工事

③10/26 断水緊急対応工事

④科学大学高校からの物品移譲（高等課程の机、イスなど）

(7) 防災・施設管理関連

① 防災訓練・・・本校舎：6月7日(水)、北校舎：6月12日(金)、
自動車実習棟：10月31日(火) 実施

② 各種施設点検・・・本校舎：8月4日(金)、1月12日(金)
北校舎・自動車実習棟：7月31日(月)、12月25日(月) 実施

(8) 貸教室事業等の実施

① 貸教室

年度	件数	収益(千円)
令和3年度	9	2000
令和4年度	12	2981
令和5年度	19	3423

※最近では1社で多数の教室を使用することが多くなってきている。

② 中学校受入（職業体験講座）

年度	件数	生徒数
令和3年度	7	36
令和4年度	60	208
令和5年度	60	231

(9) 教職員の福利厚生

① 4月6日(木) 教職員健康診断を実施

② 9月25日(月)～10月6日(金) 教職員のストレスチェックを実施。

(10) その他

① 産業医に協力をいただきながら、衛生委員会の再構成を行った。

② 高等教育負担軽減制度の更新確認申請を行い機関要件確認校となる。また、新たに追加された「私立理工農系支援」の対象となるよう学科の申請を行った。

5 広報部事業報告

- (1) 専門課程・高等課程広報部事業報告については学校の部にまとめて記載している。

II 学校部門事業報告

1 学校運営に関わるもの

- (1) 令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症が感染症予防法上の2類相当から5類に移行したことから、必要な感染防止対策を施した上で平常の状態でき活動ある教育活動を行うことができた。
- (2) 学校評価に関わり、令和5年度においては、「自己評価委員会」の活動領域が「学校関係者評価委員会」の運営を含めた「学校評価」である実態を踏まえ、「学校評価委員会」と名称を変更し、「自己評価」、「改善策の策定」、「学校関係者評価」へと進めている。最終的な「学校関係者評価委員会」は、久々の対面形式で、6月に実施できるよう調整中である。
なお、令和5年度「自己評価」の評価項目、質問事項は、令和4年度に提示された「科技専中期ビジョン2022～2027」に配慮しながら、その内容の改訂を行い実施した。
- (3) 職業実践専門課程の申請に向けては、推進学科や重点学科指定するなどして準備を進める予定であったが、教育課程への企業・団体の関わり方と評価の在り方、教員研修や学生の実習の場の設定等の課題も多く、計画通りに推進できていない。今後の課題の整理と企業・団体との具体的な連携について計画を練り直したい。

III 高等課程事業報告（高等課程広報部事業報告含む）

1. 生徒異動状況

<事業計画（目標）：2年生への進級率95%、3年生への進級率95%>

※昨年に比べ進級・卒業率は向上したが、在籍生徒数が少ない割に、教員の負担が大きく、特にクラス担任の頻回な家庭連絡や、昨年に引き続き一部科目を教員2名体制（TT）で行うなど、苦慮するところが多かった。

学年	年度当初	転入	転出	退学	休学	原級留置	進級・卒業者数
1	38	0	0	3	0	1	34 (89.5%)
2	22	1	0	2	0	0	21 (91.3%)
3	33	0	1	1	0	0	31 (93.9%)
合計	93	1	1	6	0	1	86 (92.5%)

※<参考>令和4年度：在籍88名（年度当初）→進級・卒業者数80名（90.9%）

2. 資格取得状況

検定・試験名	学年区分	合格者数	受験者数	合格率 [%]	
ワード文書処理技能認定試験 3 級	1 年生	19	33	57.6%	
C 言語プログラミング能力認定試験 3 級	1 年生	7	10	70.0%	
危険物取扱者丙種	1 年生	11	14	78.6%	
電卓計算能力検定	3 級	6	18	33.3%	
	4 級				
Excel 表計算処理技能認定試験 3 級	2 年生	8	9	88.9%	
Java プログラミング能力認定試験 3 級	2 年生	3	5	60.0%	
危険物取扱者乙種 4 類	2 年生	2	12	16.7%	
Web クリエイター能力認定試験スタンダード	2 年生	4	4	100%	
Excel 表計算処理技能認定試験 2 級	3 年生	5	10	50.0%	
Web クリエイター能力認定試験エキスパート	3 年生	2	3	66.7%	
Access ビジネスデータベース技能認定試験 3 級	3 年生	9	10	90.0%	
PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験	初級	3 年生	7	9	77.8%
第二種電気工事士	3 年生	4	5	80.0%	
トレース技能検定 4 級	3 年生	3 級	2	3	66.7%
		4 級	2	2	100%
初級バイオ技術者	3 年生	3	3	100%	
AI 検定	3 年生	1	2	50.0%	

3. 生徒指導状況

スマートフォンの使用にまつわるトラブルの増加が継続している。ネットパトロールのほか、教員の研究・知識の強化が継続して必要と思われる。

4. クラブ活動等

(1) バドミントン部

定時制通信制バドミントン大会北海道予選会

個人戦 準優勝

全国高等学校定時制通信制体育大会 第 25 回バドミントン大会

ベスト 16

定時制通信制体育連盟石狩支部新人大会

個人戦 優勝

5. 進路希望状況

<事業計画（目標）：専門課程への進学率80%>

※専門課程への進学者数は、昨年とほぼ同数であったが、在籍数から見ると学年全体の50%に留まり、他校への進学者が多い学年となった。5年間一貫教育について、利点や優遇措置等の周知が浸透してきているかに思われたが、その年ごとに全体の雰囲気等で左右されることもあるように感じる。加えて、経済的理由により進学を選択しない生徒・家庭も継続して見られ、専門課程進学時の特典や国の就学支援制度等について、専門課程との連携・協力を仰ぎつつ、周知を深めて行きたい。

<令和5年度 進路状況（3年生31名）>

進路先		詳細	人数	小計	合計
進学	大学・短大	札幌学院大学 経済学部 経営学科	1	2	31
		北海商科大学 経済学部 経営学科	1		
	専門学校等	札幌科学技術専門学校	16	7	
		吉田学園 北海道スポーツ専門学校	1		
		大原法律公務員専門学校 公務員&民間就職コース	1		
		北海道情報専門学校 大学併修科	1		
		北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科	1		
		吉田学園情報ビジネス専門学校 コンピュータグラフィックス学科	1		
		経専北海道観光専門学校 留学ツアーズ・ミイリング・リッシュ科	1		
		札幌デザイン&テクノロジー専門学校 AI&テクノロジー科	1		
就職	日本仮設 株式会社	1	6		
	東洋冷蔵株式会社	1			
	株式会社 トーチク	1			
	ワタショウ株式会社	1			
	陸上自衛隊 一般曹候補士	1			
	自衛隊 自衛隊候補生	1			

専門課程進学内訳

学科・コース	人数	学科・コース	人数	合計
情報システム学科	6	自然環境学科	2	16
電気技術学科	4	建築技術学科	1	
二級自動車整備士コース	3			

6. 機材・教材・施設・設備導入状況

文部科学省の推進する「GIGAスクール構想」に合わせた「1人1台端末」及び「高速大容量の通信環境」の整備に向けて、継続して環境整備を行なっている。導入2年目となり、端末(iPad)の配布およびアクセスポイントの設置は、2学年にまで進み、授業内での使用および家庭学習課題等の活用を行なった。令和6年度が完成年度となり、全学年・教室の整備が完了するが、今年度までの取組みを活かしつつ、更なる活用を充実させていけるように教員間での連携、研修等を進めていきたい。

7. 募集活動状況

(1) 学校説明会参加組数の推移

年度	第1回目	第2回目	第3回目	合計
令和3年度	17	17	25	59
令和4年度	15	30	26	71
令和5年度	17	22	22	61

※参加数の増加を図るため、第3回目には予定していなかった自動車実習体験を急遽追加して案内することで、一定の効果は見られたが、総数は令和3年度並みに再度落ち込んでしまった。令和6年度は実施回数の増加を計画しており、参加者数の増加と出願に繋がる内容の工夫等に努めていきたい。

(2) 出願区分と入学者数の推移

年度	1次入試		2次入試		3次入試		合計		入学者数
	単願	計	単願	計	単願	計	単願	計	
令和3年度	単願 20	計 32	単願 3	計 12	単願 1	計 1	単願 24	計 45	29
	併願 12		併願 9		併願 0		併願 21		
令和4年度	単願 28	計 38	単願 5	計 16	単願 2	計 2	単願 35	計 56	38
	併願 10		併願 11		併願 0		併願 21		
令和5年度	単願 21	計 40	単願 1	計 2	単願 0	計 0	単願 22	計 42	31
	併願 19		併願 1		併願 0		併願 20		

※出願者の総数は過去3年で最も少ない人数となり、入学者数も相当の落ち込みが予想されたが、併願受験者の入学割合(45%)が過去の平均値より倍増しており、説明会では「高等学校+α」を謳って説明してきたほか、面談や体験等で先生方が工夫を凝らして対応していただけた成果であると感じる。とはいえ、接触者の多くが単願での出願に結びつくように、継続して説明会の工夫等に努めていきたい。

(3) 中学校訪問

札幌市内および近郊の各中学校(約110校)へ年2回の訪問を計画しているが、例年のこととして、教職員が通常業務の合間の限られた時間に中学校の進路担当者との面談可能な時間を調整することは難しいのが現状である。訪問時期を早める

こと、回数を増やすこと等の必要性も感じているため、訪問時期は午前授業または短縮授業にするなどの工夫を検討してみたい。

(4) 不登校生向けの合同学校説明会への参加

今年度は、実習体験ブースのある(株)オービィ主催の2回に絞って参加した。例年通り、実習体験はある程度の賑わいがあり、校内での説明会参加に繋がるケースもあるため、一定の効果はあると感じるが、会場には全日制スタイルではない学校も多く参加しており、人気は高いように感じる。本校の全日制スタイルを強調し、他校との差別化を図っていくか、登校スタイルを変えていくことで入学者の増加に繋がるのか、思案していきたい。

IV 専門課程事業報告（専門課程広報部事業報告含む）

1. 令和5年度計画の実施、変更について

(1) 主要行事

- ・入学式 令和5年4月12日（於ホテルガーデンパレス札幌）
- ・文化祭 令和5年7月14日
- ・体育祭 令和5年10月24日（於北海きたえーる）
- ・卒業式 令和6年3月14日（於ホテルガーデンパレス札幌）

(2) 酷暑対策に係る対応

8/21（月）～ 8/25（金）

特別時間割期間とし、午前授業と可能な教職員の在宅勤務を励行。

2. 令和5年度の学籍異動について

●令和5年度 1年生

	入学	過年度	年度当初 人数	留年	休学	休学率	退学 除籍	退学 除籍率	進級	進級率	入学者内の 休・退学者	入学者の DO率
建築	11	2	13	2			3	23%	8	61.5%	3	27.3%
環境	13		13		1	7.7%	1	7.7%	11	84.6%	2	15.4%
バイオ	10		10				2	20%	8	80.0%	2	20.0%
海洋	21		21		3	14.3%	2	9.5%	16	76.2%	5	23.8%
電気	21		21				2	9.5%	19	90.5%	2	9.5%
情報	18	4	22	4			1	4.5%	17	77.3%	1	5.5%
整備	41	13	54	11			4	7.4%	39	95.1%	2	4.9%
整備(夜1)	5		5						5	100%	0	0%
整備(夜2)	8	1	9	1					8	88.9%	0	0%
専門課程計	148	20	168	18	4	3.1%	15	11.5%	131	78.0%	17	11.5%

●令和5年度 2年生

	進級	過年度	年度当初 人数	年度内 卒業	留年	休学	休学率	退学 除籍	退学 除籍率	年度末 卒業	卒業率	進級者の 卒業率
建築	18	3	21		3					18	85.8%	100%
環境	10		10							10	100%	100%
バイオ	13	1	14					1	7.1%	13	92.9%	100%
海洋	23	2	25		1	1	4.0%			23	92.0%	92.0%
電気	23	1	24			1	4.2%			23	95.9%	100%
情報	17	2	19		2			1	5.3%	16	84.2%	94.1%
整備	46	3	49		3					46	93.9%	100%
整備(夜3)	9		9			1		1		7	77.8%	77.8%
専門課程計	159	12	171	0	9	3	1.8%	3	1.8%	156	91.2%	98.1%

3. 活動報告

(1) 教職員研修

- ・整備主任者研修：自動車工学科 3 名受講
- ・教員能力認定研修：5 名受講（うち 1 名は令和 6 年 3 月末で退職）
- ・職業実践専門課程に係る研修会：第 1 回（8 月）2 名、第 2 回（12 月）4 名受講
- ・新年教職員研修：専門学校における学生募集の現状をテーマに、外部から講師を招き、新年研修を実施。

（株式会社 JS コーポレーション 主任 中津 潤一氏）

(2) 学生会活動

①文化祭

- ・模擬店、E-スポーツ、カギノ（カジノ）、夏祭り（各種縁日）、サバイバルゲーム、クイズ大会、ビンゴ大会を実施

②体育祭

- ・フットサル、ドッジボール、バレーボール、借り物競争を実施

③クラブ活動

- ・バトミントン部：3 回実施 北専各連大会には出場せず。
- ・自動車部：11 回実施 カート練習会出場（3 回）、大会出場（1 回）
- ・水槽部：毎週 1～2 回、学校エントランスの水槽メンテナンス活動
- ・自転車同好会：ツーリングを 2 回実施

④校外美化活動

- ・令和 5 年 5 月から令和 5 年 10 月まで、週 1 回各クラスで実施

(3) 就職支援室

①企業訪問の為の出張計画

- ・自動車工学科：実施せず
- ・上記以外の学科：道内出張を 1 回実施

②就職内定状況

学科・コース名	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率
建築技術	18 名	18 名	18	100%
自然環境	10 名	9 名	8	88.9%
バイオテクノロジー	13 名	11 名	10	90.9%
海洋生物	22 名	19 名	16	84.2%
電気技術	22 名	20 名	19	95.0%
情報システム	16 名	12 名	12	100%
二級整備	46 名	46 名	45	97.8%
二級整備（夜間）	7 名	0 名	0	—
合計	154 名	135	128	94.8%

(4) 学生支援センター

①学生支援センターの利用者対応状況

	対応人数	保護者対応	備考
令和5年度	39名 1年生23名/2年生10名 3年生3名/卒業生3名	18名	退学10名、休学5名、進級10名、 卒業8名、復学2名、不明1名

※令和4年度と比較して学生対応は10名増、保護者対応は4名増

<令和5年度対応者内訳>

	AE	H	B	F	K	ED	IS	NA	合計
1年	6	2	1	6	3	2	2	1	23
2年		1	1	4	1		3		10
3年	—	—	—	—	—	—	—	3	3
卒業生		2	1						3
合計	6	5	3	10	4	2	5	4	39

昨年度より面談者数は増加傾向。入学後数日で不登校となり休退学につながるケースが複数見られたことから、入学早期の段階での関係づくり（場合によっては入学前から）が次年度の課題となる。

生来の発達障害や精神的な落ち込みにより医療的な診断を受けている学生、診断は受けていないが限りなく近い状態にある学生の数は依然として高水準であるが、これまでには見られなかった学習面での躓きが精神的落ち込みへと派生するケースが数件見られた。

②高校訪問

登校が不安定になっている学生、休退学に至った学生、事前に出身校からの申し送りがあった学生については、出身校を訪問し状況の説明と高校在学時の対応に関して情報交換を実施。加えて今年度は、本校の支援体制が学生募集の強みとなりそうな市内の通信制高校5校の高校訪問を実施した。

③日本語学校訪問

学生募集の一環として市内の日本語学校5校を訪問。本校の支援体制が徐々に認識されている感触もあり、関係性ができつつある。

④高等課程との連携

高等課程入学式およびオリエンテーションにて生徒、保護者に対し学生支援センターの取り組みについて周知。1年生の宿泊実習のプログラムの一部を担当。

⑤その他

日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金取扱い団体、企業や行政が運営する学生支援事業、日本年金機構の学生納付特例等の窓口業務。その他学生向けの各種セミナーや研修の学内周知を実施。

4. 専門課程各学科

【建築技術学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
建築 CAD 検定 3 級	7 名	4 名	57%
建築 CAD 検定 2 級	18 名	11 名	61%
2 級建築施工管理技術検定	18 名	16 名	75%

②就職状況（2 年生 18 名／就職内定者 18 名）

就職内定企業：(株)ウッディークラフト、(株)池下設計、廣木建設(株)、大岡産業(株)、新太平洋建設(株)、(株)砂子組、(株)ミツヤ（2 名）、タカハシグループ、(株)田中組、金井建設工業(株)、(株)道東住設、伊深基礎工業(株)、古谷コンクリート工業(株)、リサイドワン（2 名）、コープさっぽろ、一二三北路(株)

③その他

次年度は着手できなかった新規の取り組み実行のための再考と、募集対策のために SNS を積極的に活用する。

【自然環境学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
技術士補（環境）	6 名	1 名	17%
公害防止管理者水質（1 種）	1 名	1 名	100%
公害防止管理者水質（3 種）	1 名	1 名	100%
公害防止管理者水質（4 種）	1 名	0 名	0%
環境計量士（濃度）	1 名	0 名	0%
毒物劇物取扱者	1 名	1 名	100%
生物分類技能検定 3 級	11 名	6 名	55%
2 級ビオトープ計画管理士	16 名	8 名	50%

②就職状況（2 年生 10 名／就職内定者 9 名）

環境分析 2 名、北海道職員林業職 2 名、開発コンサルタント 1 名、環境コンサルタント 1 名、カントリークラブ 1 名、警備サービス 1 名、就労移行支援事業所 1 名

③その他

各種感染症の罹患者は散発的で予定していた教育活動に大きな影響はなかった。現象してしまった入学体験会参加者数を確保することが次年度の課題となる。

【バイオテクノロジー学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
危険物乙種 1 類	1 名	1 名	100%
危険物乙種 4 類	2 名	1 名	50%
危険物甲種	1 名	1 名	100%
初級バイオ技術者	8 名	8 名	100%
中級バイオ技術者	16 名	16 名	100%
上級バイオ技術者	2 名	2 名	100%

※中級バイオ技術者では 3 名が成績優秀者賞を受賞

②就職状況（2 年生 13 名／就職内定者 10 名、進学者 2 名）

就職内定企業：シミックファーマサイエンス(株)、ヤクハン製薬(株)、(株)吉田食販、大三ミート産業(株)、北海道乳業(株)、札幌臨床検査センター(株)、(株)オーシャン、日糧製パン(株)、三友プラントサービス(株)、(株)北海道コカ・コーラプロダクツ

進学先：室蘭工業大学編入学（2 名）

③その他

卒業生の関係から職業講話を 3 社で実施した。コロナ後の影響で例年宿泊で行っている実習を日帰りに切り替えて実施。募集対策として、HP 内ブログ、SNS を定期的に更新。

【海洋生物学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
一級小型船舶操縦士	3 名	2 名	67%
二級小型船舶操縦士	13 名	11 名	85%
潜水士	19 名	6 名	32%

②就職状況（2 年生 23 名／就職内定者 20 名）

公務員（水産職）、熱帯魚関係、湾港関係、水産土木調査、市場 3 名、増養殖関係 2 名、漁業 3 名、食品加工 2 名、水産海洋系以外 6 名

③その他

コロナの影響で中止となっている宿泊実習を校内で実施した。水族館等施設見学、人工授精、釣り関係、スノーケリング等複数の校外実習を実施した。

【電気技術学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
消防設備士乙種 4 類	12 名	1 名	8%
第一種電気工事士（筆記）	22 名	15 名	68%
第一種電気工事士（技能）	18 名	11 名	61%
2 級電気工事施工管理技術検定	22 名	9 名	41%
電検 3 種	7 名	2 名	29%
電検 1 種	1 名	1 名（科目合格）	100%

②就職状況（2 年生：23 名／就職内定者 19 名、進学者 1 名）

就職内定企業：北海電気工事(株) (3 名)、(株)北弘電社、末廣屋電機(株) 1 名、パナソニックマーケティングジャパン(株)、日本メックス(株)、ヤブシタ冷熱設備(株)、(一財)電気保安協会、東光工栄(株)、北海道コココーラボトリング(株)、北海道ノーミ(株)、北海道通商(株)、橋本電気工事(株)、北海道古川電気工業(株)、(株)キタデン、(株)アルスドライブ、札幌市役所（技術職）進学先：北見工業大学編入学

③その他

学習意欲や学力の面で支援が必要と思われる学生へ特に重点的に指導を行った。

また、ビジネス EXPO、泊原子力発電所見学を実施。例年行っている変電所、苫東厚真火力発電所見学は定期点検のため中止となった。

【情報システム学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
I T パスポート	8 名	6 名	75%
基本情報技術者	4 名	3 名	75%
応用情報技術者	1 名	0 名	0%
情報活用能力認定試験 2 級	3 名	1 名	33%
WE B クリエイター認定試験	14 名	14 名	100%
C 言語プログラミング認定試験	4 名	3 名	75%

②就職状況（2 年生 12 名／就職内定者 12 名）

就職内定企業：日本アイ・ビーエムデジタルサービス(株)、(株)正栄プロジェクト、(株)テクノプロエンジニアリング、(株)興洋電機、シーデービージャパン(株)、(株)システムサプライ、(有)アウトバーン、(株)アウトソーシングテクノロジー、生活協同組合、(株)システムロード、(株)システムグレイ、(株)アシスト

③その他

新たな検定と、6月から資格の奨励金制度を導入した。WEB作成作品の発表（保護者向けに制作作品のネット公開）、卒業制作発表を実施。

3社を招いての業界セミナーやビジネス EXPO に参加し、最新技術に触れる機会を設けた。

【自動車工学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数	合格率
二級ガソリン自動車整備士	45名（昼間）	45名	100%
	7名（夜間）	7名	100%
二級ジーゼル自動車整備士	45名（昼間）	45名	100%
	7名（夜間）	7名	100%
中古自動車査定士	11名（昼間）	11名	100%
ガス溶接安全教育	34名（昼間）	34名	100%
アーク溶接特別教育	41名（昼間）	41名	100%
	5名（夜間）	5名	100%
タイヤ空気充てん作業特別教育	41名（昼間）	41名	100%
	5名（夜間）	5名	100%
研削といし安全衛生特別教育	41名（昼間）	41名	100%
電気自動車等の整備作業に係る特別教育	41名（昼間）	41名	100%
	5名（夜間）	5名	100%

②就職状況（2年生 45名／就職内定者 44名）

就職内定企業：札幌トヨペット(株)（5名）、北海道スバル(株)（5名）、ネットヨタ札幌(株)（4名）、ネットヨタ道都(株)（3名）、札幌日産自動車(株)（3名）、ダイハツ北海道販売(株)（3名）、(株)スズキ自販北海道（3名）、トヨタカローラ札幌(株)（2名）、北海道マツダ販売(株)（2名）、(株)クレタ（2名）、(株)林自工（2名）、北海道川崎建機(株)（2名）、(株)ホンダ四輪販売北海道、(株)ホンダカーズ南札幌、トヨタカローラ道北(株)、北見トヨペット(株)、東北海道日野自動車(株)、日立建機(株)、(株)M I Dアルファホールディングス、J Aオホーツク、(有)道東自動車整備工場

③その他

昼間、夜間共に新千歳モーターランドにて校外実習を実施。昼間学生対象に企業による技術講習や講話を行った。（日産自動車技術講習、北海道マツダ技術セミナー、三菱ふそうトラックバス e-canter 講習会、ネットヨタ札幌技術講習、札幌トヨタ講話）

5. 学生募集報告

コロナの影響を受けない年になりましたが、入学体験会は前年より参加者数を減らし、留学生に対する募集活動や平日の入学体験会を実施するなどの対策を講じたが、最終的に入学者を減らす結果となった。

(1) 入学体験会参加者数

実施回	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	昨年同時期
1	3月25日	4	1		1	2			8	12
2	4月29日	5		1	4	5	1	5	21	18
3	5月21日	5		3	1	2	7	4	22	37
4	6月24日	4		1	4	4	5	1	19	23
5	7月30日	6	3	1	2	1	3	1	17	26
6	8月5日				1	2			3	16
7	8月26日	3	2	1	1	3	4	6	20	22
8	9月9日	5	1	1	4		1	2	14	11
9	9月23日		1		3	1	1	3	9	5
10	10月14日				1		2	1	4	
11	11月25日	1	1		1		3		6	5
12	12月2日			1	1				2	4
	※12月13日	1							1	
13	1月20日			1	1	1		4	7	5
	※1月25日	2							2	
14	2月3日	1		1		2	1		5	9
	※2月20日									
15	3月2日		1			1	1	1	4	6
	※3月18日					3		2	5	
合計		37	10	11	25	27	29	30	169	199
昨年		60	14	17	30	24	29	25	199	
前年比		61.7%	71.4%	64.7%	83.3%	112.5%	100.0%	120.0%	84.9%	

※上記数字は3年生以上対象。リピーターは初回のみカウントとしています。

※12月13日、1月25日、2月20日、3月18日の4回は平日入学体験会17:00~19:00開催口

(2) 出願者数及び入学者数（整備夜間は募集休止）

入試次	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	夜間	一級	合計	昨年同時期
第1次	10月7日	6			5	3	4	2		0	20	49
第2次	10月21日	5	3		2	1	2	2		0	15	23
第3次	11月18日	1					1			0	2	3
第4次	12月9日	9	2	3	2	2	10	8		0	36	35
第5次	1月27日			1	2		1	3		0	7	6
第6次	2月10日	6	1	2			4	1		0	14	13
第7次	3月9日		1				1	1		0	3	11
第8次	4月1日				1			2		0	3	8
出願合計		27	7	6	12	11	18	19		0	100	148
辞退者		2	0	1	1	2	1	2		0	9	7
入学者数		25	7	5	11	9	17	17		0	91	141
昨年入学者		41	13	10	21	11	21	18	5	1	141	
前年比		61.0%	53.8%	50.0%	52.4%	81.8%	81.0%	94.4%		0.0%	64.5%	

(3) 広報活動報告

① ホームページの活用

LINE については登録者が約 970 名と日常の問い合わせや、入学体験会の申込に利用される機会が増えてきている。インスタグラムや SNS については未だ学科毎にばらつきがあるため引き続き課題としたい。

② 入学体験会の強化

1 2 月から実施した平日の入学体験会は、まだ参加者数は少ないが、募集対象層の参加者 8 名に対して 5 名の出願となっており、土日に参加できない対象者には効果があると考えている。次年度については年 8 回計画し出願に繋げたい。

③ オンライン説明会、個別学校見学の充実

コロナも 5 類に移行となり利用者は減っているが 1 1 名中 8 名の出願となっており、遠方地区の対象者には効果があるものと考えている。また留学生については 6 名中 5 名が学校見学、オンライン説明会からの出願となっている。

④ 道内各地における学校単独説明会実施

6 月 12 日～全道 14 会場、9 月 11 日～全道 14 会場、3 月 11 日～全道 13 会場で開催した。募集対象 1 2 組中 9 名の出願があった。

⑤ 高校訪問の充実

全員募集の取り組みとして教員の市内訪問を実施しているが、数校にとどまっている。

⑥ 高等課程との連携強化

高等課程保護者に対する説明会等を実施してきた。予定していた高等課程 2 年生の専門課程見学は酷暑・大雪等による延期が重なり、最終的に 3 月 2 日開催の入学体験会に参加していただいた。

⑦ OBOG 職業動画の制作

一部の学科から着手し始めているが今後の課題である。

⑧ 学生募集管理システムの導入

資料請求・高校訪問・ガイダンス関係の一部データ蓄積はできたが、入学体験会や入学試験に向けた対応が未着手である。